

事業概要

1. 事業名称

平成 29 年度「高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業」
(<http://www.rehse2007.com/KoukouseiShienH29.html>)

2. 趣旨

義務教育を終え、自主的に思考し各々の意見を発信することができるレベルにある高校生が、身のまわりの環境安全やさまざまなリスクを自身の問題として捉え考えるための研究活動を支援します。具体的には、高校生自らが環境安全やリスクに関連のある研究テーマを決め、調査等の研究成果を報告書としてまとめ、発表し、相互に意見交換する活動を支援します。

3. 主催：特定非営利活動法人 研究実験施設・環境安全教育研究会 (REHSE)

4. 共催：公益社団法人 日本化学会

5. 事業の概要

研究のテーマとして、「化学物質」「生物・バイオ」「環境」「その他」のキーワードが設定されています。それぞれのキーワードで、利用、安全、リスク、管理等に関する研究テーマを高校生自身が設定し、高校生 3 名以上のチームによる主体的な研究活動として取り組んでいただきます。

REHSE は、高校生の研究活動に活動支援金（審査により支援額を決定）を支給し、REHSE 会員（学識経験者）が研究活動を支援します。活動支援金は、書籍購入、施設見学に伴う旅費、専門家へのヒアリングや出前講義の実施などに伴う旅費や謝金、消耗品購入、印刷代、通信費等に使うことができます。

研究成果は、指定の様式の報告書にまとめて 11 月と 1 月に提出していただき、2 月の最終審査の結果、3 月に東京大学で開催される研究成果発表会出場校を選定します。出場校の指導教員 1 名と生徒若干名を招待し、発表会（公開）では最優秀賞などの表彰を行います。

スケジュール：

- 6 月 参加校決定、自主研究活動を開始、第 1 期活動資金を支給
- 11 月 中間報告書の提出、審査、第 2 期活動資金を支給
- 1 月 最終報告書の提出
- 2 月 審査会にて優秀校を選考
- 3 月 優秀校成果発表会、表彰、合宿（大学研究者指導による実習や施設見学）

6. 運営体制

REHSE 会員である大学・研究所の研究者、企業の研究者、技術者が中心となって実行委員、審査委員を務め事業を運営しています。

REHSE 事務局内に、当事業の事務局を置いています。

7. これまでに本事業を支援していただいた企業

三進金属工業株式会社／株式会社ダルトン／ヤマト科学株式会社／アズビル株式会社
／株式会社岡村製作所／三友プラントサービス株式会社／グロービック株式会社／株
式会社重松製作所／島津エス・ディー株式会社／富士電機株式会社／株式会社千代田
テクノ／長瀬ランダウア株式会社／株式会社鈴木商館／日本科学技術振興財団／K
Cコンサルティング株式会社／株式会社日本環境調査研究所／株式会社堀場製作所

8. 平成 28 年度の結果

(http://www.rehse2007.com/Koukousei_Shien_H28_Seikahappyoukai.html)

<最優秀賞>

◎埼玉県立不動岡高等学校（埼玉県）

「会の川 環境・水質調査」

<優秀賞>

◎福島県立福島高等学校（福島県）

「福島県内外の高校生個人線量調査」

◎エクセラン高等学校（長野県）

「長野県の自然界に放射性 Cs はどのように存在するか、その環境リスクに
ついて ～コケ・キノコ植物を通して～」

平成 27 年度最優秀賞

エクセラン高等学校（長野県）

「福島原発事故以降、長野県での放射能の影響」

－なぜ野生きのこ・山菜・野生動物肉について放射線が検出されるのか？－

平成 26 年度最優秀賞

麻布高等学校（東京都）「雨水が河川水となるまでの過程についての研究」

平成 25 年度最優秀賞

八戸工業大学第二高等学校（青森県）「放射線を利用した発電は可能か」

特定非営利活動法人 研究実験施設・環境安全教育研究会

理事長 大島 義人

【連絡窓口】 事業事務局：〒277-8563 柏市柏の葉 5-1-5 東京大学 環境棟 468 号室

(E-mail) jimukyoku@rehse2007.com (TEL) 080-4383-2007